



開物成務

平成30年 11月 1日(木) 発行

校長 津田 将美

名前の おはなし…

私事ですが、私の名前は「将美(まさよし)」と言います。

実は子ども時代、この名前をあまり好きではありませんでした。なぜかと言いますと、いつも女の子と間違えられたからです。なかなか「まさよし」とは読んでもらえず、「まさみ」と読まれることが多かったのです。だからと言って、特別嫌な思いをしたわけではなかったのですが…、「なんとなくいや…」という感じでした。

でも、あまり意識しなくなっているうちに、自然とお気に入りの名前になっていました。両親が「大将のようにたくましく、そして美しい心の持ち主に…」という願いを込めてくれていたのは知っていましたし、心がだんだん大人になって小さなことを気にしなくなったからかもしれません。今では、他にはあまりない私だけの大切な「名前」です。

10月23日に、人権朝会がありました。そのタイトルは、「名前のおはなし」です。

始めに、10月末に産休に入る国師先生と香川先生からお話がありました。

赤ちゃんの誕生を、とても楽しみにしていること。そのために今、名前を考えている最中だということ。国師先生は女の子、香川先生は男の子と聞いていて、それぞれぴったりの名前、子どもに気に入ってもらえる名前を一生懸命考えていることをお話しされました。

二人の生まれてくる小さな命に向けた愛情いっぱいのお話に、子どもたちも真剣に聞き入っていました。そして自分の名前も、そのようにたっぷりの愛情を注がれながらつけられたことを感じてくれたのではないかと思います。

次に最近あまりなかった試みですが、教師による寸劇を披露しました。2時間目の授業が終わった中休み、たけひこくん(福留先生)は、あやかさん(佐藤先生)、ちさとさん(湯山先生)に名前をもじったからかった呼び名を使います。二人は傷つき、とうとう、ちさとさんが言い返します。

二人の嫌な思いを知ったたけひこくんは、大いに反省をし、これからは言わないと約束をします。

だいたいこういうお話ですが、先生たちが劇をするってことで子どもたちは興味津々、意欲的に観ることができたようです。

最後に木曾先生から、一人一人を大切にするために、呼び方も大事という話を聞いて、各教室で振り返りを行いました。

教室でどんなお話がされたのかは、お子さんに聞いてみてください。また、名前の由来などもお話いただけると、子どもたちの心の中に今回の朝会に込めた想いがより強く残ると思います。

一人一人のすてきな「名前」を大切にしてほしいと思います。



平和についての意見文・1

- ★終戦記念日にテレビで流れた戦争体験者の話を聞いて、本当に平和が一番で決してもう一度戦争はしてはいけないし、平和な世界にしていかなきゃいけないと思った。…ぼくたちにできることは、戦争の悲惨さを知り、人に伝えることだ。…それが、戦争をなくす第一歩だと思う。
- ★世界中の人が世界すべての人を思いやることができたなら、戦争どころか犯罪すらおこらない、とても平和な世界になるんじゃないかと、ぼくは思う。…今からでも、周りの人や外国の人を思いやってほしい。そして、平和への第一歩をふみ出してほしい。
- ★みんなといっしょに過ごす時間は、すごく大切だなと感じました。今の暮らしを大事にしながら、より良い平和な未来にしたいなと思いました。…私は、やっぱりみんなの笑顔が大切だと思います。
- ★バスケットで世界を平和にする。これは、輝かしい未来への活動です。そのためには、スポーツを好きになることが大切です。…「スポーツでどうやって平和にするんだ。」という声もあると思う。スポーツをすると仲間ができる。シュートを決めれば友情が高まる、笑顔が増える。するとスポーツが好きになる。平和は、つながりがあることで生まれると思う。
- ★この前、朝会で校長先生が「あいつは悪、私は正義」と決めつけなくて一度考えることが大切、という話をしていた。…そのように決めつけて仲の良かった子とケンカをしてしまうことがあった子は必ずいる。だから、決めつけて悪い結果になるよりも、決めつけなくて一度考えることが大切だと思う。…私が身近にできることを考えた。より平和で「楽しい」未来のためには、笑顔でいることが大切だと思う。【つづく】

前号で紹介するとお伝えした6年生の平和な世界に向けた意見文です。成長と共に、少しずつ客観的に物事を考えるようになります。そして、より良い社会、世界について、自分事として捉えられるようになります。発達段階に合わせ、平和について考えていきたいと思います。



6年生を励ます会 10月11日

連合体育大会に向けて、一生懸命練習をがんばる6年生に向けて行われました。5年生の応援団を中心に、全校で力いっぱい声を出して6年生に「がんばってほしい」という気持ちを伝えました。

5年生も、6年生から「全校をひっぱる」役割を少しずつ受け継いできています。今回も、とても堂々とした態度で、全校児童の思いを6年生に伝えることができました。胸を張ってひな壇に座る6年生の態度も立派でした。

16日の連合体育大会本番では、6年生一人一人が練習の成果を発揮しました。そして、多くの子が自己ベストを出せたようです。城山陸上競技場という本格的なステージで自分の力を精一杯発揮している6年生の姿は、誇らしげでした。

多くの保護者の皆様も応援にかけつけていただき、ありがとうございました。



すこやか会議 10月23日

23日、24日に行われた学校公開におきましては、平日開催にも関わらず、延べ462名の来校がありました。多くの保護者の皆様に参観されて、子どもたちも張り切っているようでした。

23日に行われた「すこやか会議」では、「健康な生活習慣：おなかすっきり朝ウンチ」というテーマで、排便の大切さについて話し合われました。

保健委員会の児童は、この日のために一生懸命準備や練習を積み重ねてきました。委員会担当から子どもたちが本当ががんばっていることは伝え聞いてはいたのですが、正にその通りの発表でした。質問等に自分の言葉で答えようとする姿は、開成小学校のすてきさんの象徴だったように感じました。

今後も学校と家庭で連携をしながら、健康な生活習慣を身につけていきたいと思います。